

## IV 調査結果の詳細



## IV 調査結果の詳細

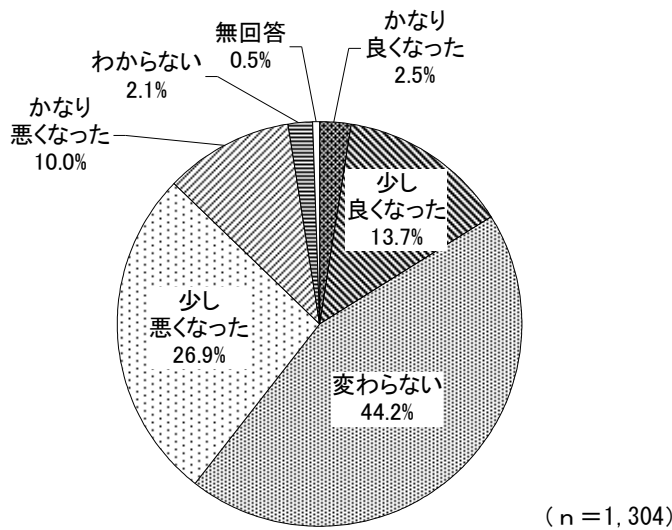
### 1 暮らしの変化について

#### (1) 暮らしの変化

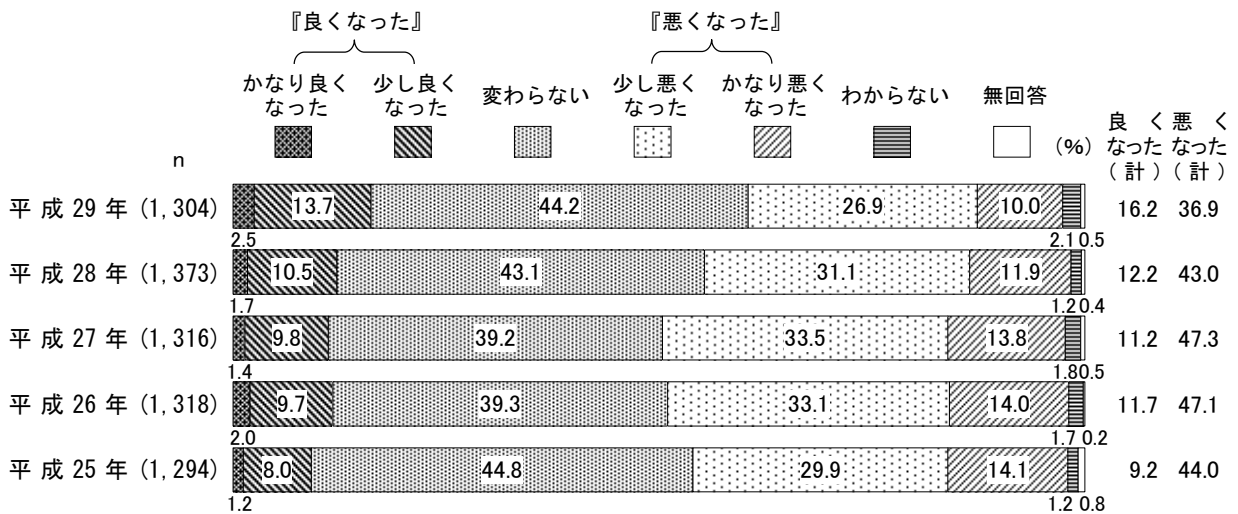
問1 あなたの暮らしは、この5～6年の間にどう変わりましたか。  
次の中から1つ選んでください。

[n=1,304]

1	かなり良くなった	2.5%	4	少し悪くなった	26.9%
2	少し良くなった	13.7%	5	かなり悪くなった	10.0%
3	変わらない	44.2%	6	わからない	2.1%
				(無回答)	0.5%

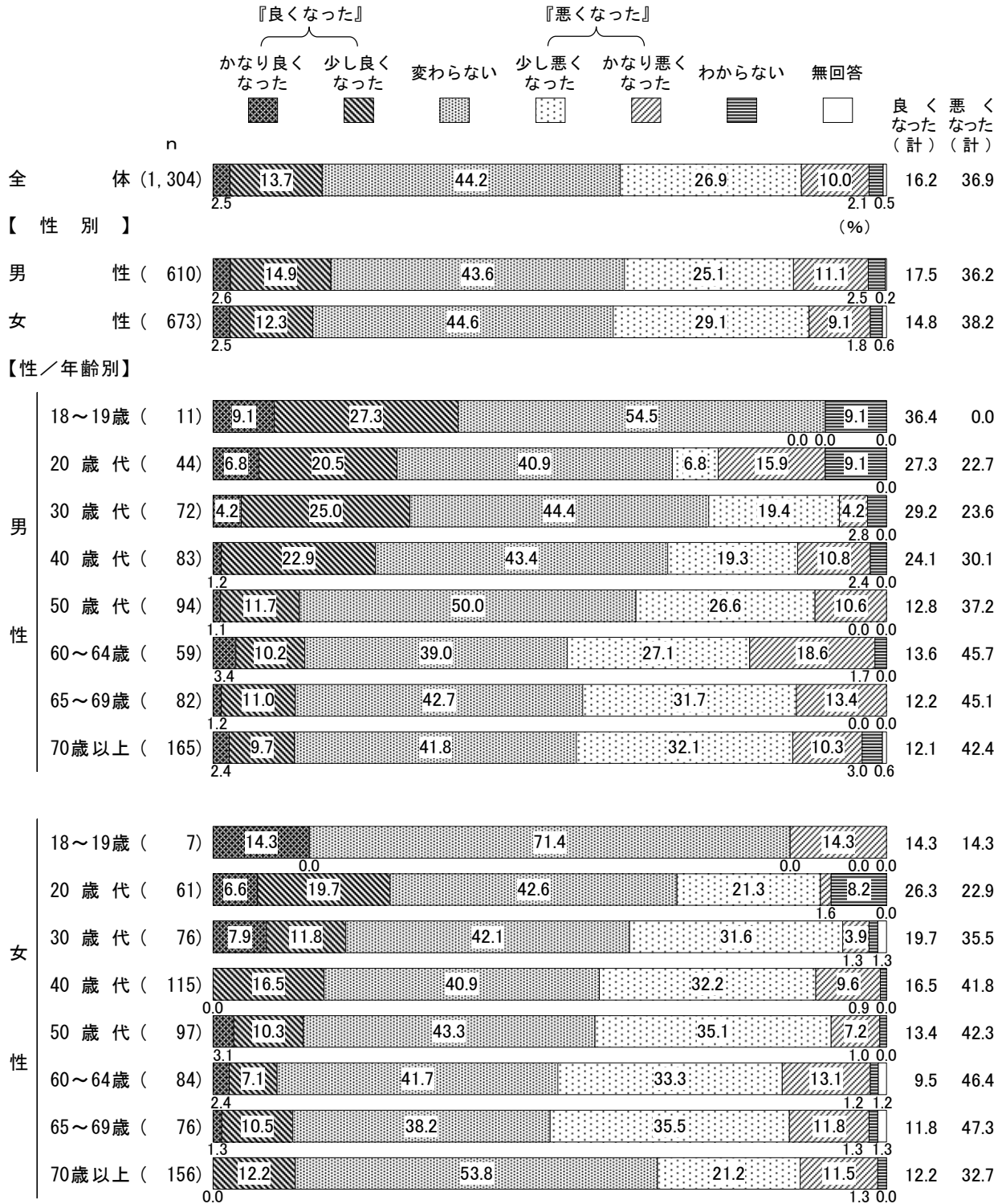


全体で見ると、「かなり良くなった」(2.5%)と「少し良くなった」(13.7%)の2つを合わせた『良くなった』(16.2%)は1割半ばとなっている。一方、「少し悪くなった」(26.9%)と「かなり悪くなった」(10.0%)の2つを合わせた『悪くなった』(36.9%)は4割近くとなっている。また、「変わらない」(44.2%)は4割半ばとなっている。



過去の調査結果と比較すると、『良くなった』が前回(平成28年)より4.0ポイント増加している。一方、『悪くなった』が前回(平成28年)より6.1ポイント減少している。

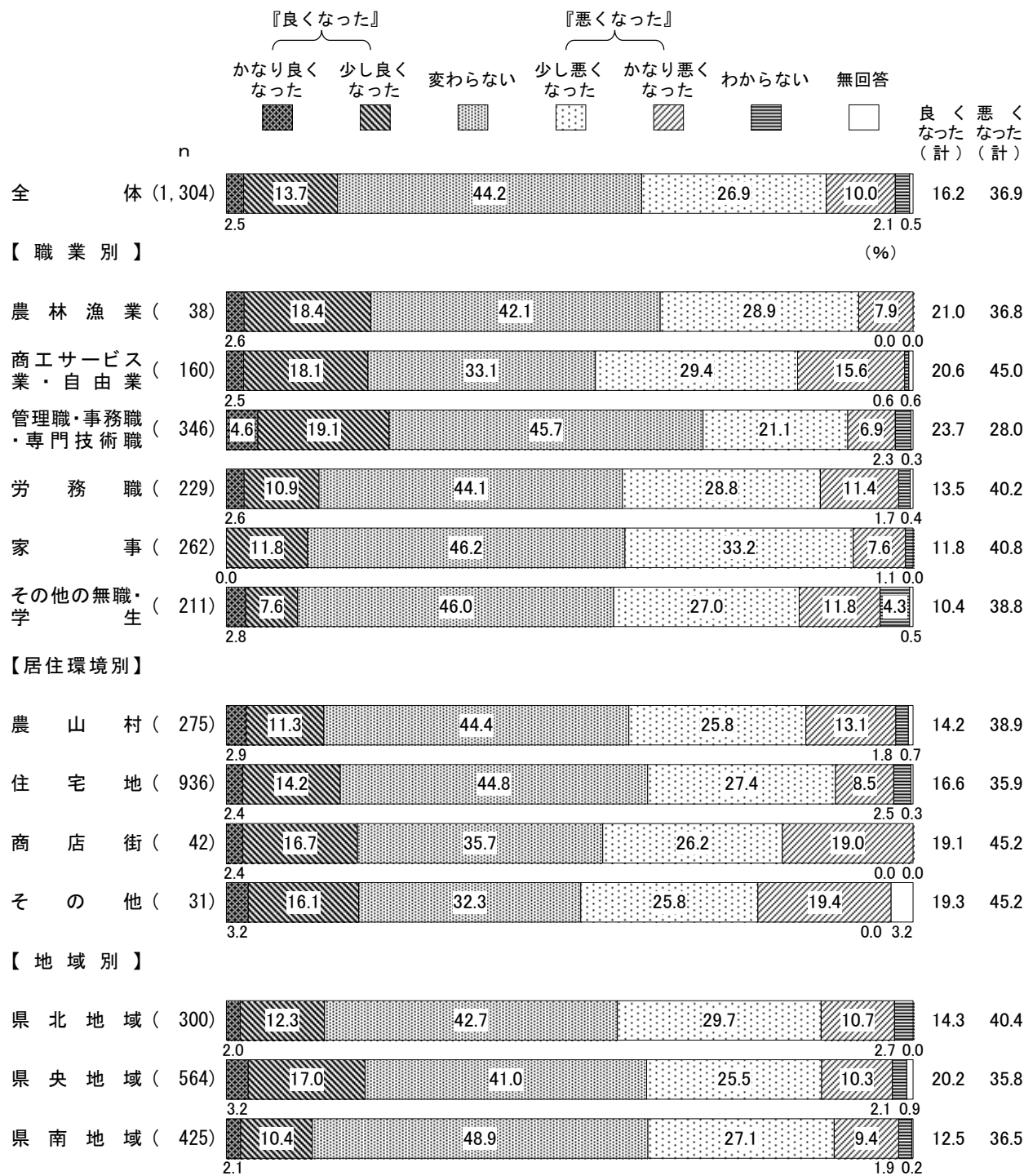
[性別・性／年齢別]



性別で見ると、『良くなった』では〈男性〉(17.5%)が〈女性〉(14.8%)より2.7ポイント高くなっている。

性／年齢別で見ると、『良くなった』では〈男性30歳代〉が29.2%、〈男性20歳代〉が27.3%、〈女性20歳代〉が26.3%と高くなっている。一方、『悪くなった』では〈女性65～69歳〉が47.3%、〈女性60～64歳〉が46.4%、〈男性60～64歳〉が45.7%、〈男性65～69歳〉が45.1%と高くなっている。

[職業別・居住環境別・地域別]



職業別でみると、『良くなった』では〈管理職・事務職・専門技術職〉が23.7%と高くなっている。一方、『悪くなった』では〈商工サービス業・自由業〉が45.0%と高くなっている。

居住環境別でみると、『良くなった』では〈商店街〉が19.1%と高くなっている。一方、『悪くなった』でも〈商店街〉が45.2%と高くなっている。

地域別でみると、『良くなった』では〈県央地域〉が20.2%と高くなっている。一方、『悪くなった』では〈県北地域〉が40.4%と高くなっている。

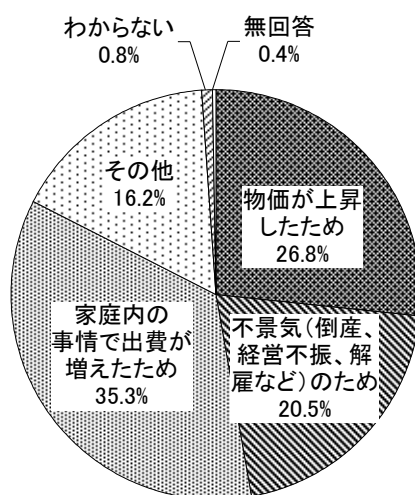
## (1-1) 暮らしが悪くなった理由

(問1で選択肢「少し悪くなった」、「かなり悪くなった」を選んだ方のみお答えください)

問1-1 悪くなったのは、主にどのようなことからですか。もっとも大きな要因を1つ選んでください。

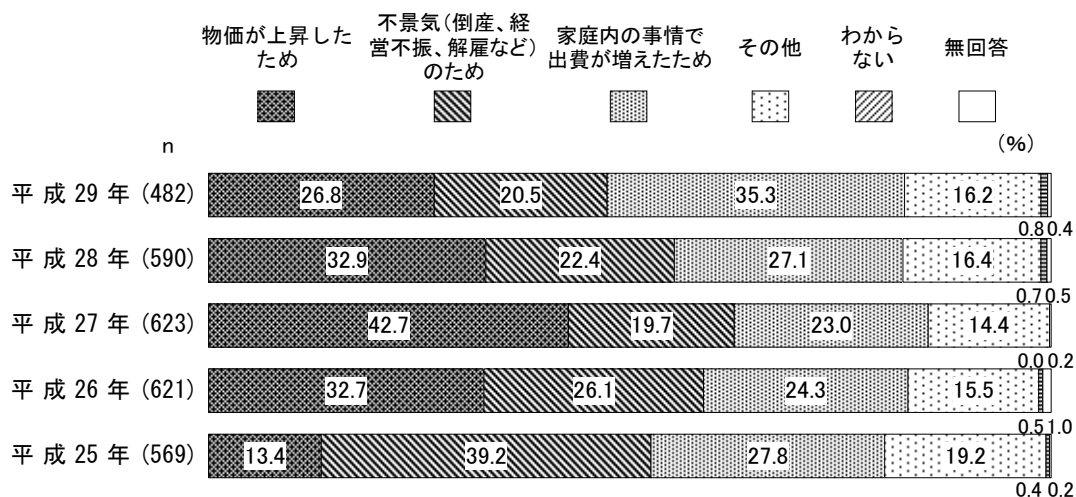
[n=482]

1	物価が上昇したため	26.8%	4	その他	16.2%
2	不景気(倒産、経営不振、解雇など)のため	20.5%	5	わからない	0.8%
3	家庭内の事情で出費が増えたため	35.3%		(無回答)	0.4%



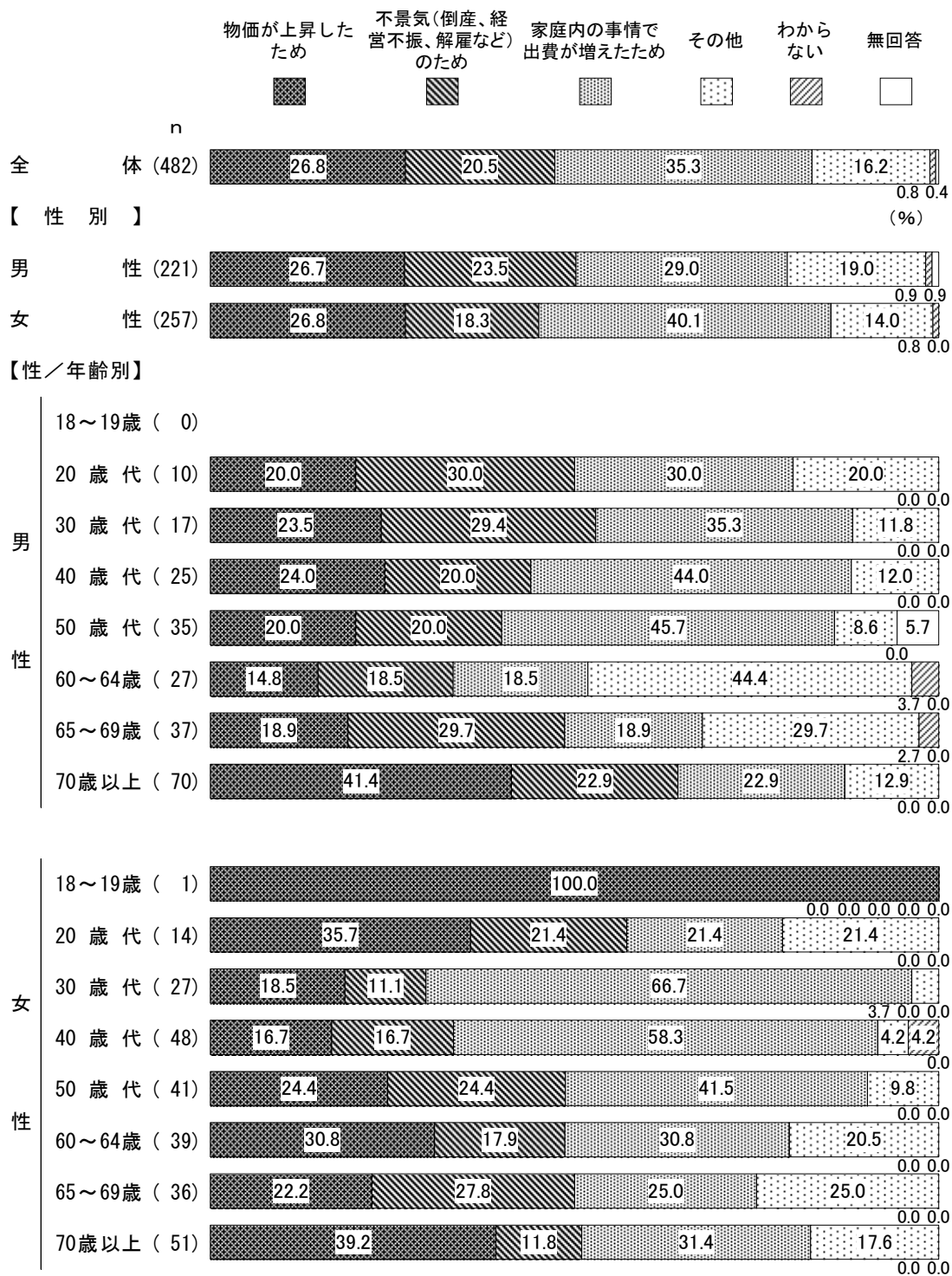
(n=482)

全体でみると、「家庭内の事情で出費が増えたため」(35.3%)が3割半ばで最も高く、次いで「物価が上昇したため」(26.8%)、「不景気(倒産、経営不振、解雇など)のため」(20.5%)の順となっている。



過去の調査結果と比較すると、「家庭内の事情で出費が増えたため」が前回(平成28年)より8.2ポイント増加しており、平成27年(23.0%)以降増加傾向にある。一方、「物価が上昇したため」が前回(平成28年)より6.1ポイント減少しており、平成27年(42.7%)以降減少傾向にある。

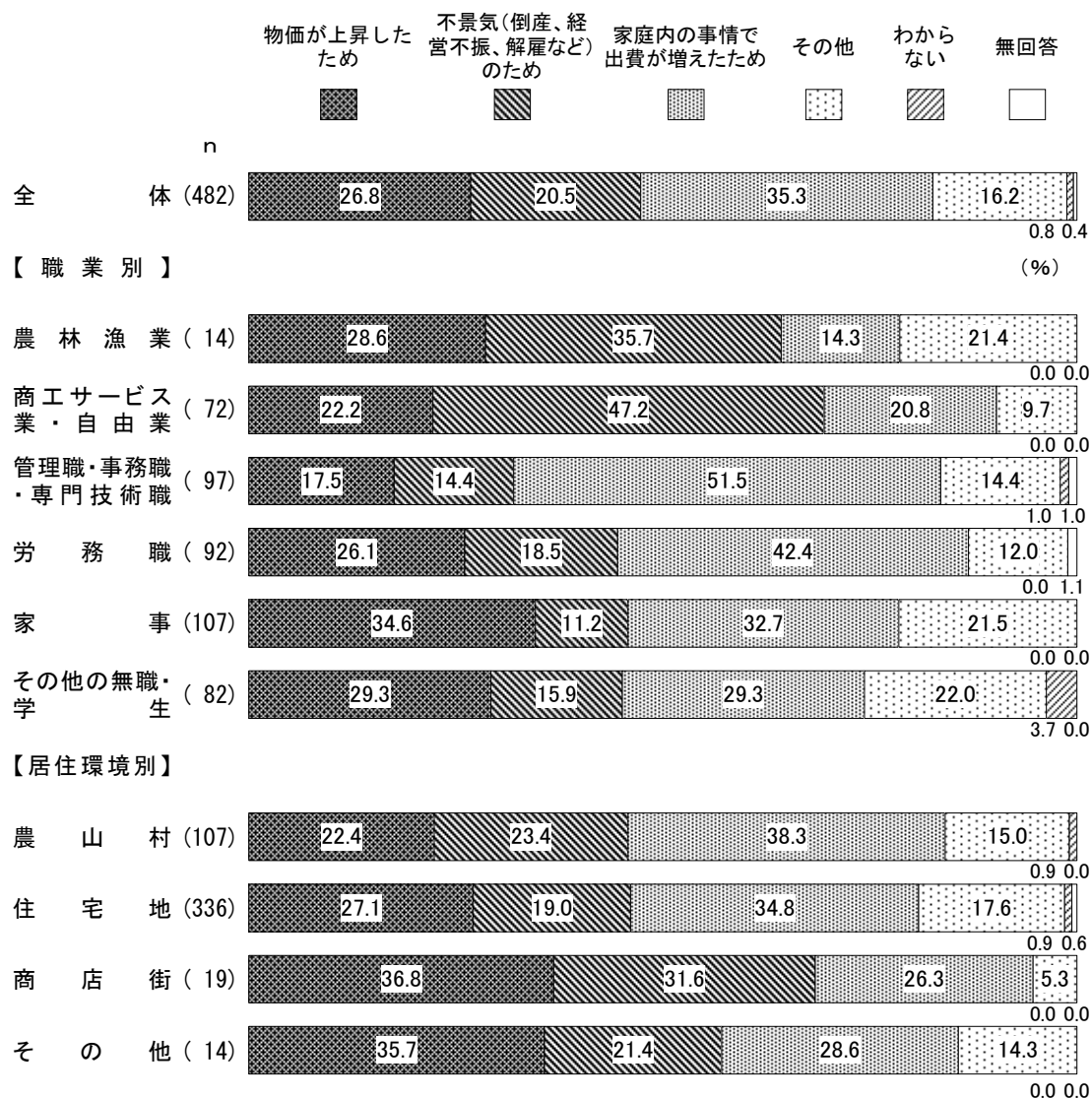
[性別・性／年齢別]



性別でみると、「家庭内の事情で出費が増えたため」では〈女性〉(40.1%)が〈男性〉(29.0%)より11.1ポイント高くなっている。「不景気(倒産、経営不振、解雇など)のため」では〈男性〉(23.5%)が〈女性〉(18.3%)より5.2ポイント高くなっている。

性／年齢別でみると、「家庭内の事情で出費が増えたため」では〈女性30歳代〉が66.7%、〈女性40歳代〉が58.3%と高くなっている。「物価が上昇したため」では〈男性70歳以上〉が41.4%、〈女性70歳以上〉が39.2%と高くなっている。「不景気(倒産、経営不振、解雇など)のため」では〈男性20歳代〉が30.0%、〈男性65～69歳〉が29.7%、〈男性30歳代〉が29.4%と高くなっている。

[職業別・居住環境別]



職業別でみると、「家庭内の事情で出費が増えたため」では〈管理職・事務職・専門技術職〉が51.5%と高くなっている。「物価が上昇したため」では〈家事〉が34.6%と高くなっている。「不景気（倒産、経営不振、解雇など）のため」では〈商工サービス業・自由業〉が47.2%と高くなっている。

居住環境別でみると、「家庭内の事情で出費が増えたため」では〈農山村〉が38.3%と高くなっている。「物価が上昇したため」では〈商店街〉が36.8%と高くなっている。「不景気（倒産、経営不振、解雇など）のため」では〈商店街〉が31.6%と高くなっている。

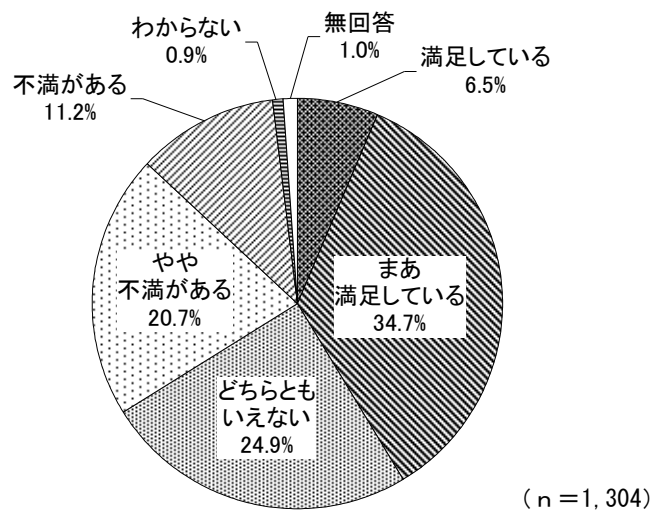


## (2) 暮らしの満足度

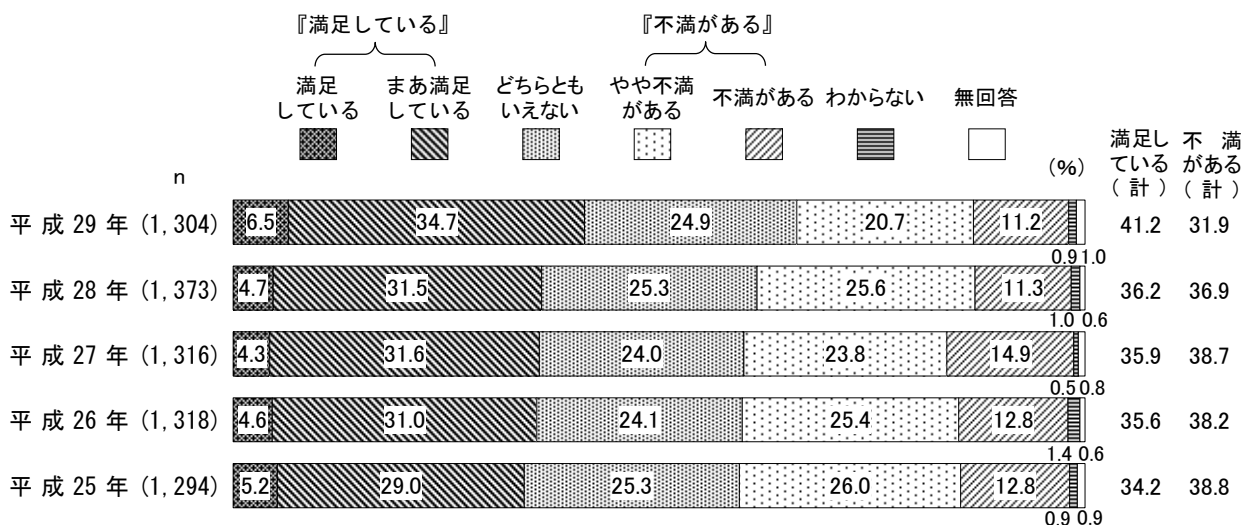
問2 あなたは、今の暮らしについてどの程度満足していますか。  
次の中から1つ選んでください。

[n=1,304]

1	満足している	6.5%	4	やや不満がある	20.7%
2	まあ満足している	34.7%	5	不満がある	11.2%
3	どちらともいえない	24.9%	6	わからない	0.9%
				(無回答)	1.0%

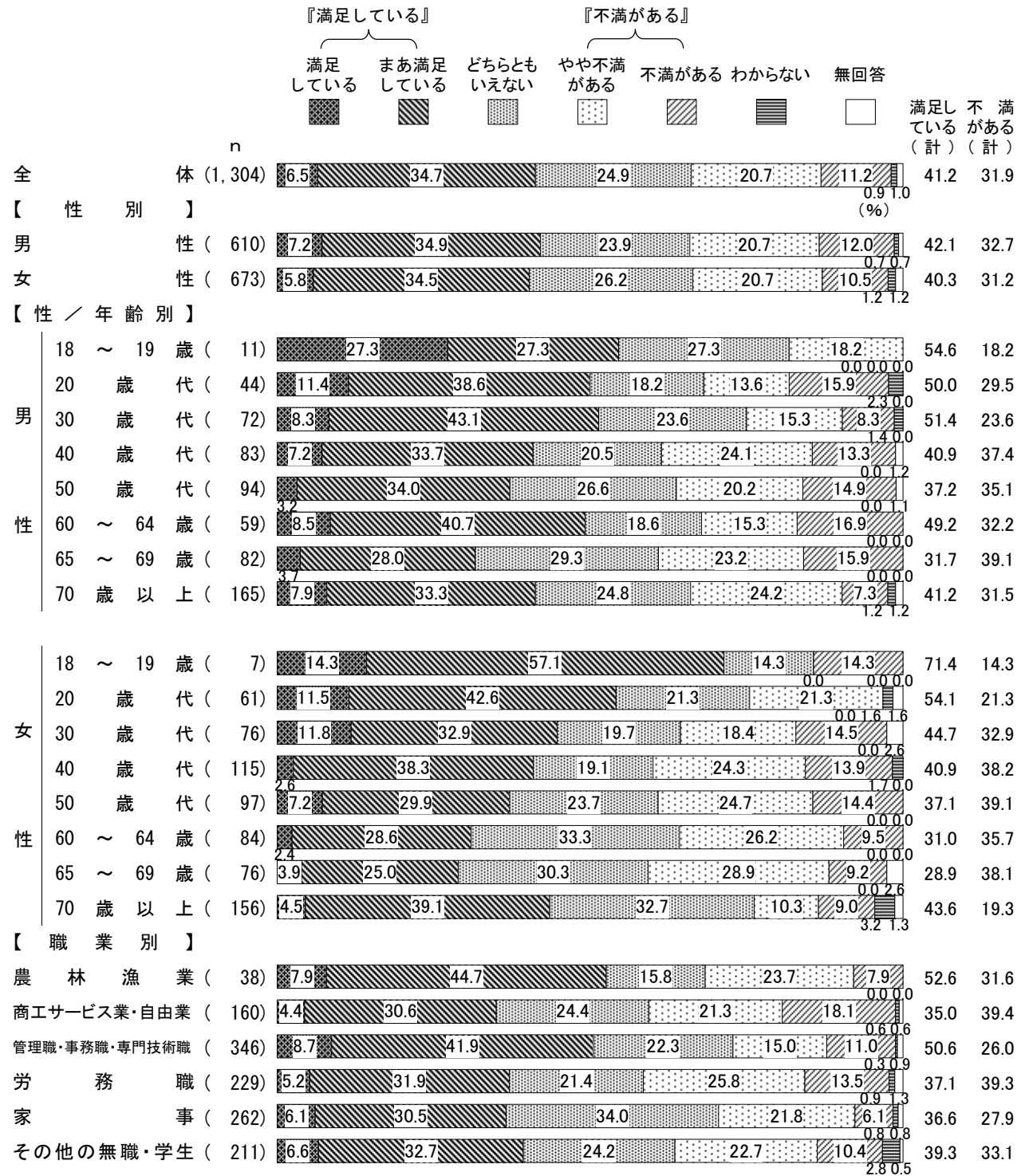


全体でみると、「満足している」(6.5%)と「まあ満足している」(34.7%)の2つを合わせた『満足している』(41.2%)は4割を超えている。一方、「やや不満がある」(20.7%)と「不満がある」(11.2%)の2つを合わせた『不満がある』(31.9%)は3割を超えている。また、「どちらともいえない」(24.9%)は2割半ばとなっている。



過去の調査結果と比較すると、『満足している』が前回(平成28年)より5.0ポイント増加している。一方、『不満がある』が前回(平成28年)より5.0ポイント減少している。

【性別・性／年齢別・職業別】

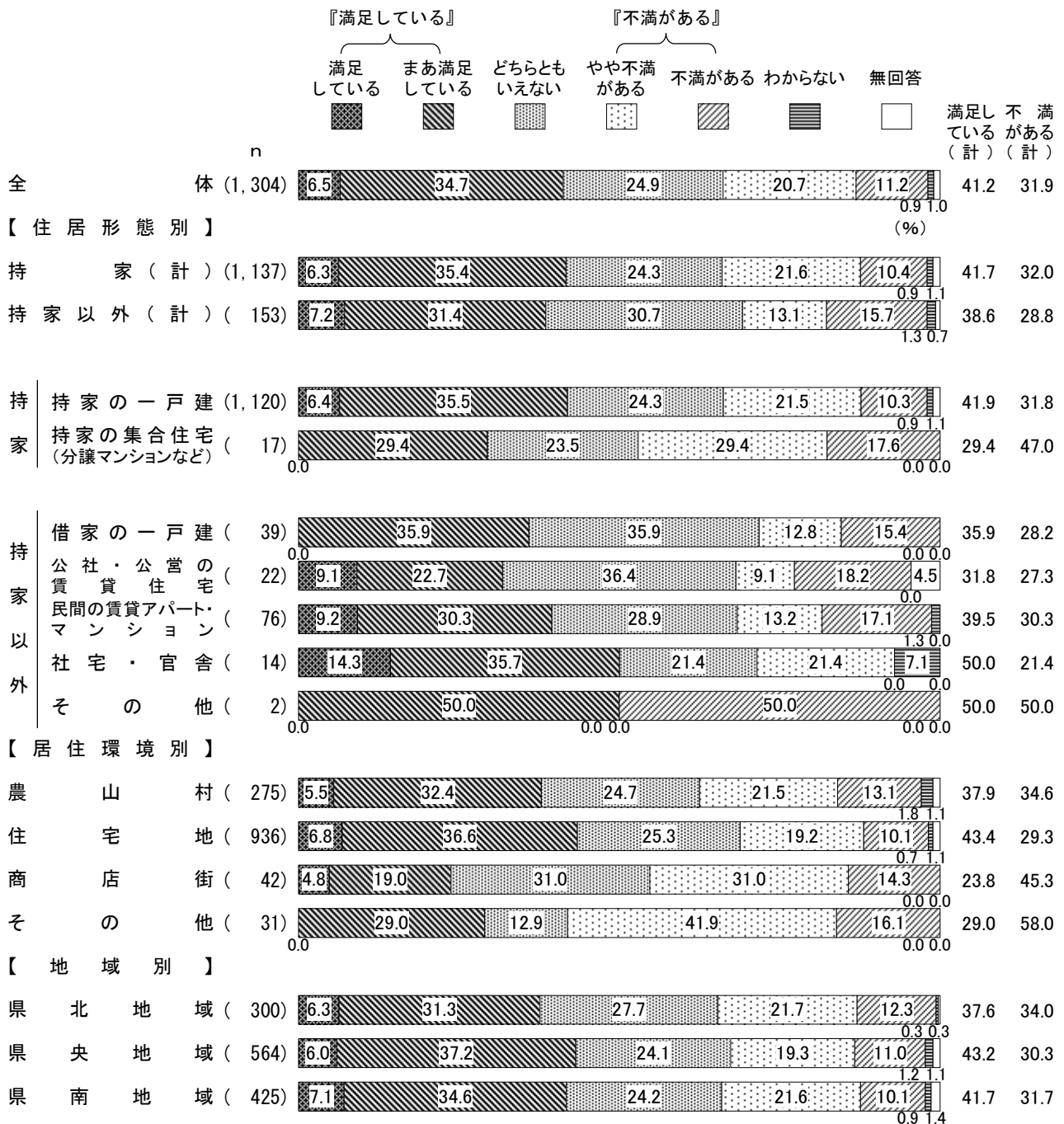


性別でみると、大きな傾向の違いはみられない。

性／年齢別でみると、『満足している』では〈女性20歳代〉が54.1%、〈男性30歳代〉が51.4%、〈男性20歳代〉が50.0%と高くなっている。一方、『不満がある』では〈男性65～69歳〉と〈女性50歳代〉がともに39.1%と高くなっている。

職業別でみると、『満足している』では〈農林漁業〉が52.6%、〈管理職・事務職・専門技術職〉が50.6%と高くなっている。一方、『不満がある』では〈商工サービス業・自由業〉が39.4%、〈労務職〉が39.3%と高くなっている。

〔住居形態別・居住環境別・地域別〕



住居形態別で見ると、『満足している』では〈持家 (計)〉 (41.7%) が〈持家以外 (計)〉 (38.6%) より3.1ポイント高くなっている。

居住環境別で見ると、『満足している』では〈住宅地〉が43.4%と高くなっている。一方、『不満がある』では〈商店街〉が45.3%と高くなっている。

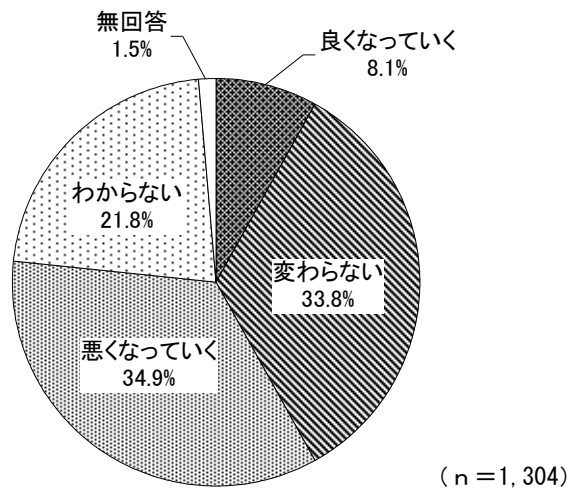
地域別で見ると、『満足している』では〈県央地域〉が43.2%と高くなっている。一方、『不満がある』では〈県北地域〉が34.0%と高くなっている。

### (3) 今後の暮らしの状況

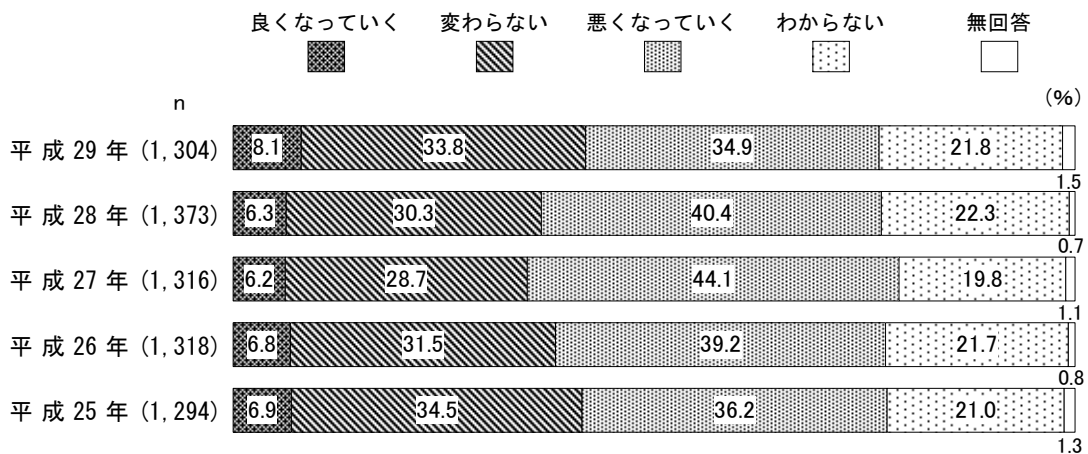
問3 あなたの暮らしは、これから先どうなっていくと思いますか。  
次の中から1つ選んでください。

[n=1,304]

1 良くなっていく	8.1%	3 悪くなっていく	34.9%
2 変わらない	33.8%	4 わからない	21.8%
		(無回答)	1.5%

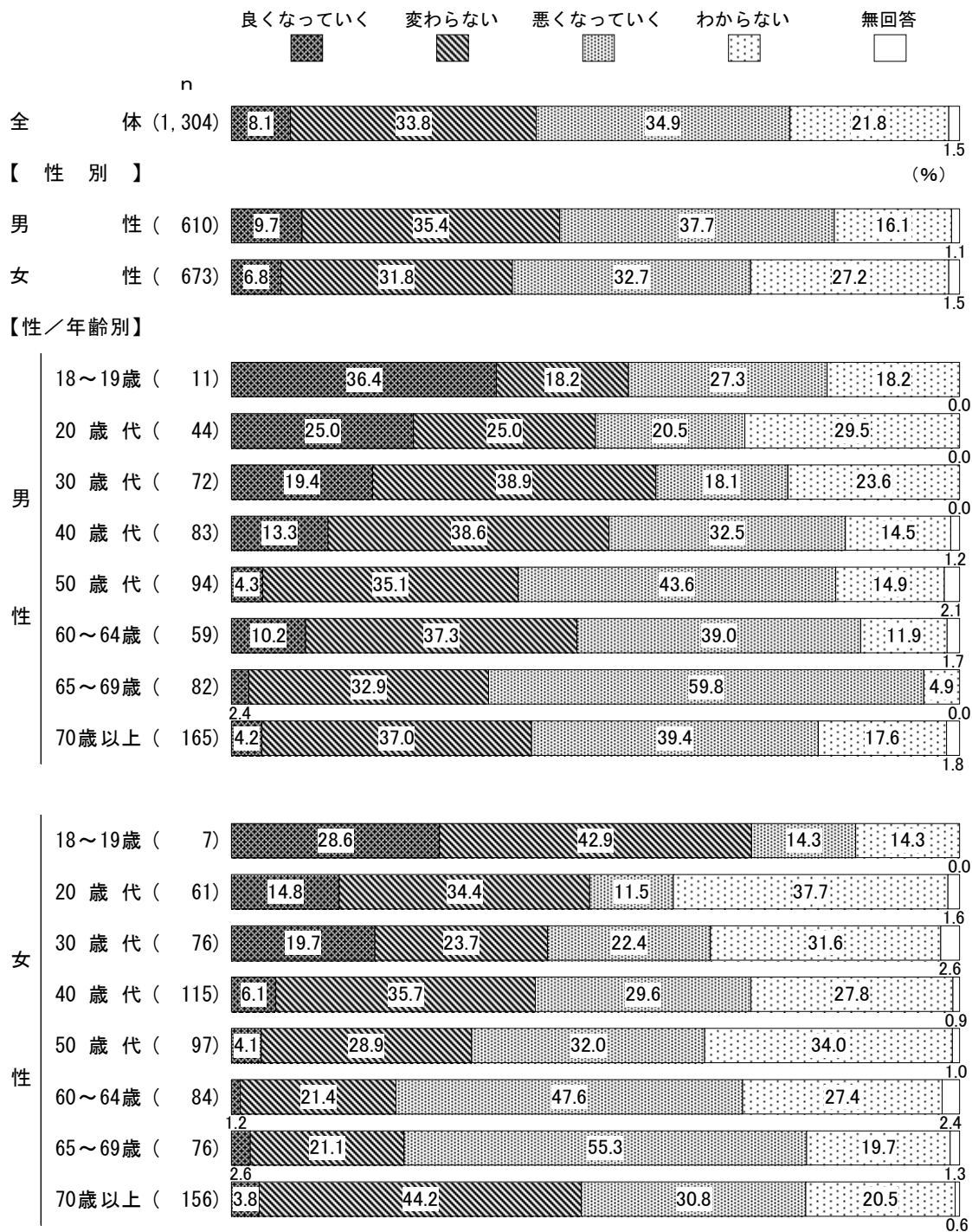


全体で見ると、「良くなっていく」(8.1%)は1割近くとなっている。「変わらない」(33.8%)は3割を超えており、「悪くなっていく」(34.9%)は3割半ばとなっている。



過去の調査結果と比較すると、「悪くなっていく」が前回(平成28年)より5.5ポイント減少している。

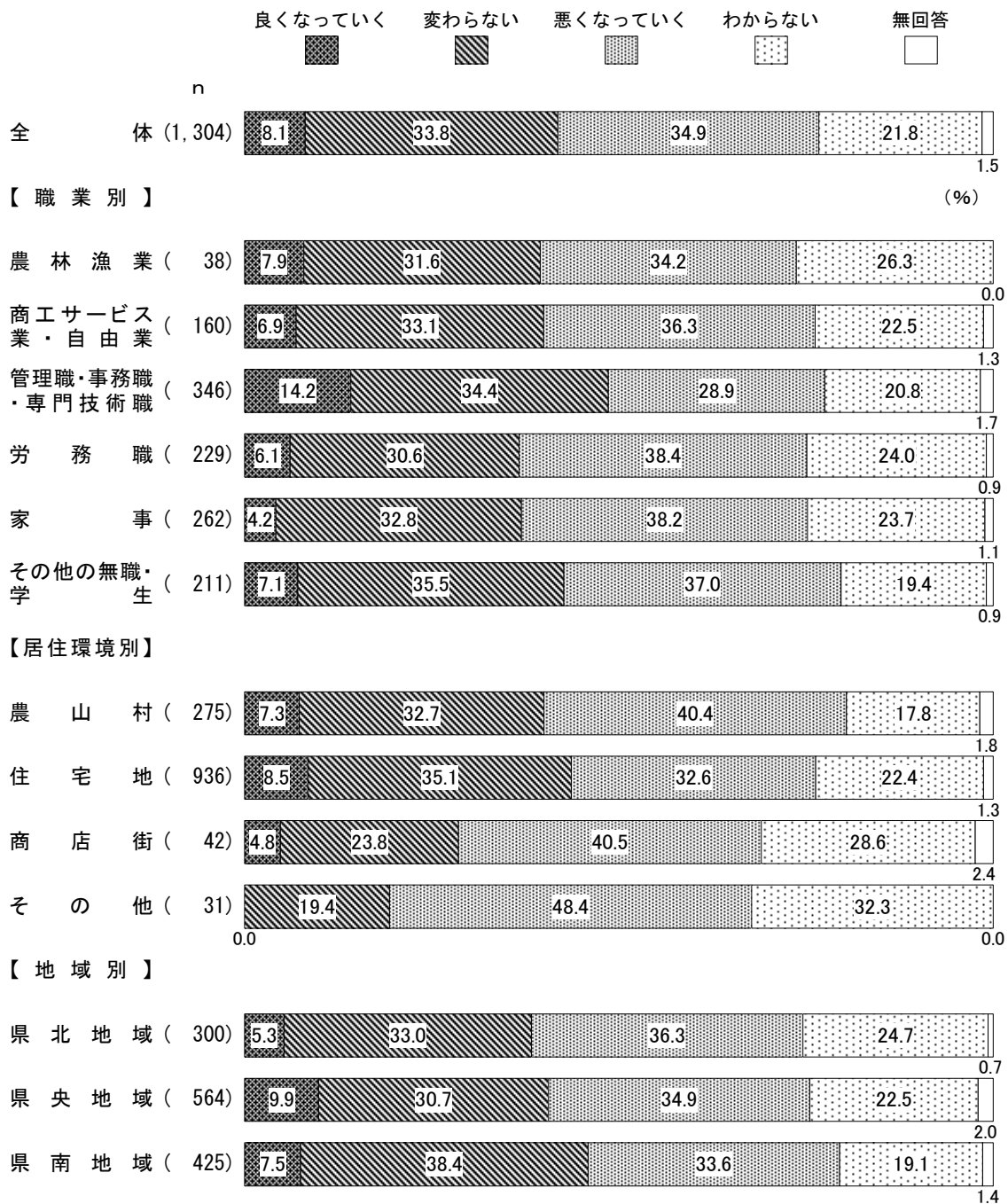
[性別・性／年齢別]



性別でみると、「良くなっていく」では〈男性〉(9.7%)が〈女性〉(6.8%)より2.9ポイント高くなっている。一方、「悪くなっていく」でも〈男性〉(37.7%)が〈女性〉(32.7%)より5.0ポイント高くなっている。

性／年齢別でみると、「良くなっていく」では〈男性20歳代〉が25.0%、〈女性30歳代〉が19.7%、〈男性30歳代〉が19.4%と高くなっている。「変わらない」では〈女性70歳以上〉が44.2%と高くなっている。「悪くなっていく」では〈男性65～69歳〉が59.8%、〈女性65～69歳〉が55.3%と高くなっている。

[職業別・居住環境別・地域別]



職業別でみると、「良くなっていく」では〈管理職・事務職・専門技術職〉が14.2%と高くなっている。

居住環境別でみると、「悪くなっていく」では〈商店街〉が40.5%、〈農山村〉が40.4%と高くなっている。

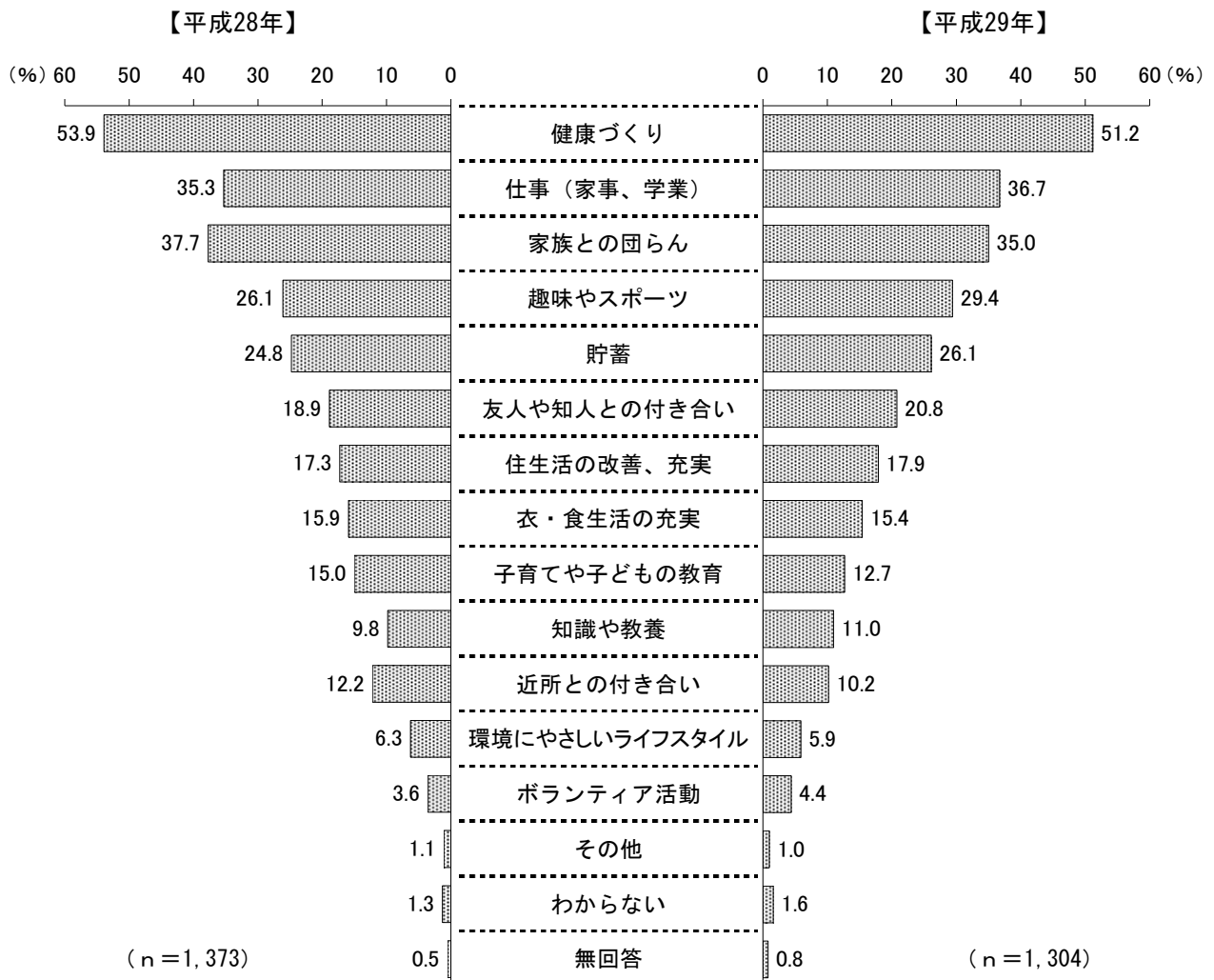
地域別でみると、「変わらない」では〈県南地域〉が38.4%と高くなっている。

#### (4) 今後の暮らしで力を入れる点

問4 あなたは、今後の暮らしの中で、どのような点に力を入れていきたいと思いますか。  
次の中から3つまで選んでください。

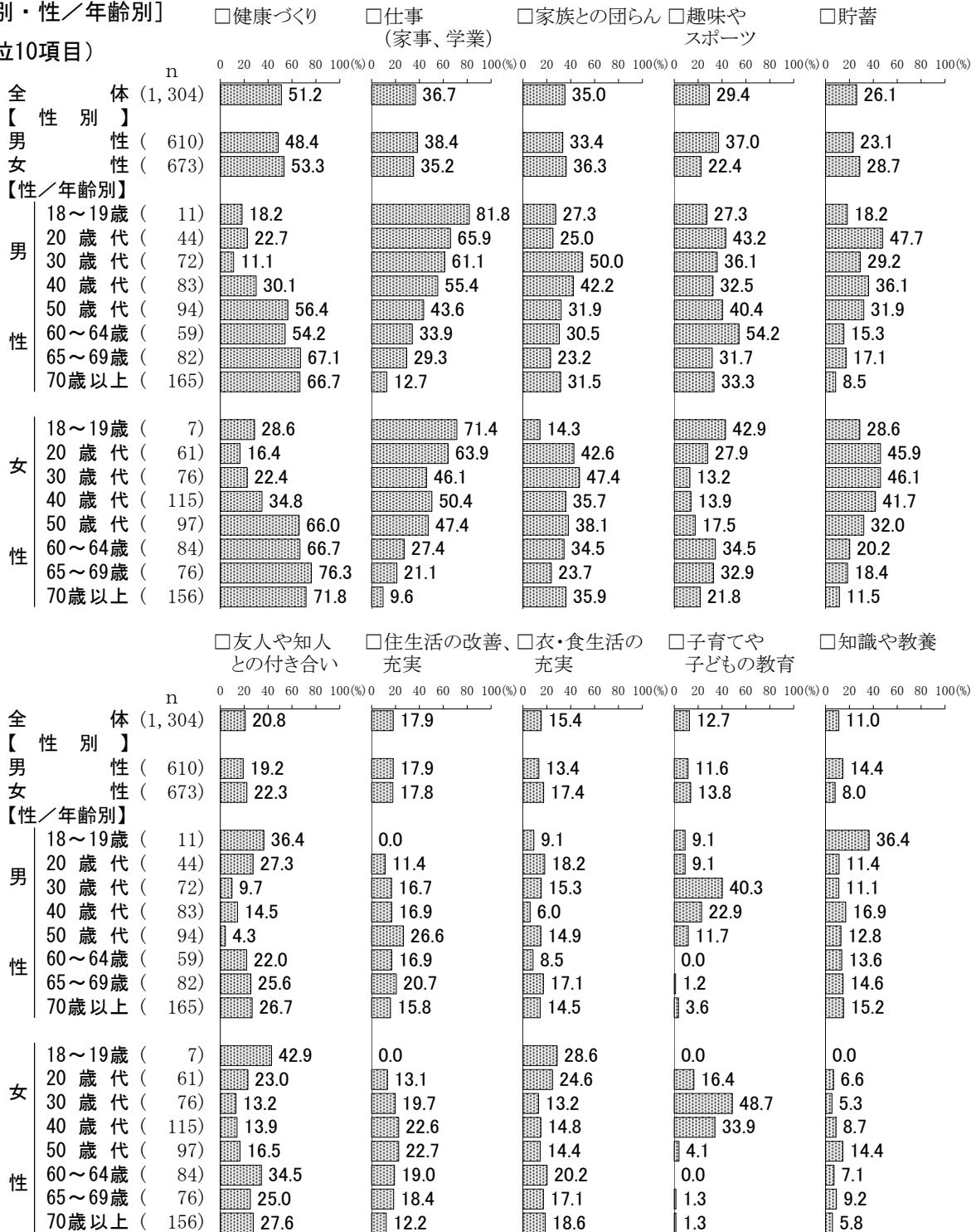
[n=1,304]

1	仕事（家事、学業）	36.7%	9	家族との団らん	35.0%
2	知識や教養	11.0	10	近所との付き合い	10.2
3	貯蓄	26.1	11	友人や知人との付き合い	20.8
4	趣味やスポーツ	29.4	12	子育てや子どもの教育	12.7
5	ボランティア活動	4.4	13	健康づくり	51.2
6	衣・食生活の充実	15.4	14	その他	1.0
7	住生活の改善、充実	17.9	15	わからない	1.6
8	環境にやさしいライフスタイル	5.9		（無回答）	0.8



全体で見ると、「健康づくり」(51.2%)が5割を超えて最も高く、次いで「仕事(家事、学業)」(36.7%)、「家族との団らん」(35.0%)、「趣味やスポーツ」(29.4%)、「貯蓄」(26.1%)の順となっている。前回(平成28年)の調査結果と比較すると、「趣味やスポーツ」が3.3ポイント増加している。一方、「健康づくり」と「家族との団らん」がともに2.7ポイント減少している。

[性別・性／年齢別]  
(上位10項目)



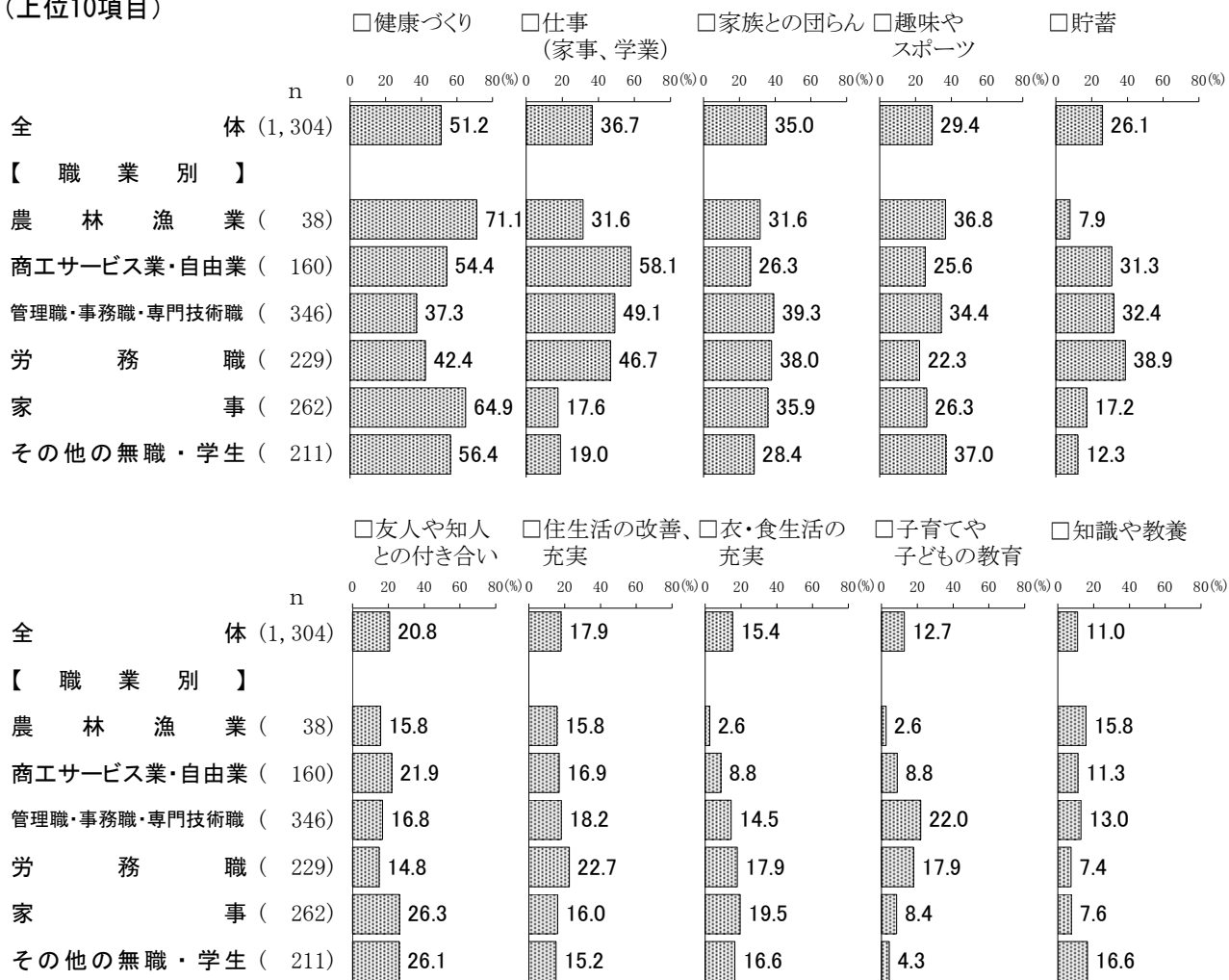
性別でみると、「趣味やスポーツ」では〈男性〉(37.0%)が〈女性〉(22.4%)より14.6ポイント高くなっている。「知識や教養」では〈男性〉(14.4%)が〈女性〉(8.0%)より6.4ポイント高くなっている。「貯蓄」では〈女性〉(28.7%)が〈男性〉(23.1%)より5.6ポイント高くなっている。

性／年齢別でみると、「健康づくり」では〈女性65~69歳〉が76.3%、〈女性70歳以上〉が71.8%と高くなっている。「仕事(家事、学業)」では〈男性20歳代〉が65.9%、〈女性20歳代〉が63.9%と高くなっている。「家族との団らん」では〈男性30歳代〉が50.0%と高くなっている。「趣味やスポーツ」では〈男性60~64歳〉が54.2%と高くなっている。「子育てや子どもの教育」では〈女性30歳代〉が48.7%、〈男性30歳代〉が40.3%と高くなっている。



[職業別]

(上位10項目)



職業別で見ると、「健康づくり」では〈農林漁業〉が71.1%と高くなっている。「仕事(家事、学業)」では〈商工サービス業・自由業〉が58.1%と高くなっている。「貯蓄」では〈労務職〉が38.9%と高くなっている。